

## 岩手県福祉サービス第三者評価の結果

### 1 第三者評価機関

名 称	社会福祉法人 岩手県社会福祉協議会	認証番号	第 2 号
所在地	盛岡市三本柳 8-1-3	評価実施期間	平成 23 年 11 月 14 日～平成 24 年 1 月 19 日

### 2 事業者情報

事業者名称（施設名）： 大洋学園	種別：児童養護施設
代表者氏名：理事長 木川田 典彌 管 理 者：園長 刈谷 忠	開設年月日 昭和 30 年 3 月 30 日
設置主体：社会福祉法人 大洋会 経営主体：社会福祉法人 大洋会	定員（利用人員） 56 名
法人所在地：大船渡市立根町下欠 125-15 TEL：0192-26-2714 FAX：0192-26-2771 事業所：大船渡市立根町下欠 125-15 TEL：0192-26-2714 FAX：0192-26-2771	

### 3 総評

<p>◇ 特に評価の高い点</p> <p>○管理者と職員が一体となった施設運営について</p> <p>園長のリーダーシップのもと、全職員が一体となつての施設運営がなされている。特に利用者は、地域の子として位置づけし、地域行事には積極的に参加し地域に根ざした施設として運営している。第三者評価もすでに 6 回の受審を数え、年度ごとに改めて自己評価も実施している。この中で職員の意識も高まり課題も鮮明化される。例えば横断化した研修、小規模グループケア、親子関係アフターケア等など多くの課題への取組が見られる。常に「計画・実行・評価・見直し」を園長のリーダーシップのもと全職員が積極的に取組み今日の成果を生み出したと思われる。その努力を評価したい。</p> <p>◇ 改善が求められる点</p> <p>○業務（職務）分掌の明示の工夫について</p> <p>業務の体制と担当者は、業務分掌系統図並びに業務分担表で示されている。23 年度業務分担表と各会議開催要領で示す担当者が一致しない箇所が見られる。組織内で、役職員はじめ職員個々の業務範囲を明確にし、組織内での責任の所在を明らかにすることが重要と考える。本人の責任の自覚と職員間の連携を深め、効果・効率的な業務を遂行できる明示の工夫が必要と思われる。</p>
--

### 4 第三者評価結果に対する事業者のコメント

<p>平成 23 年度は、東日本大震災発生後の対応に追われ、実質的に新年度がスタートしたのは 9 月からという状況でした。このため、改善事項の検討や自己評価の機関・取りまとめも十分ではなかったため、停滞気味になり、そのことが評価結果に繋がったことは否めないと考えています。</p> <p>厳しい状況ではありましたが、常に「子どもの最善の利益」の追求と具現化に向けた取り組み、そのため</p>
---

の施設機能や支援力の向上を図っていくことは、我々の責務であることを職員間で再確認し、新年度がスタートしたところです。

このような反省を踏まえ、昨年度末に通知された社会的養護関係施設における第三者評価基準ガイドラインをベースに、評価結果の分析や具体的取り組み等の検討を職員全体で早期に行い、可能なものから逐次改善していきたいと考えております。

## 5 各評価項目にかかる第三者評価結果 （別紙）